

武蔵野プレイス天文学講座

電波望遠鏡で探る「見えない宇宙」



©ESO/C. Malin (christophmalin.com)

夜空にきらめく星々の間には、目には見えない「宇宙の雲」が漂っています。この雲は星や惑星の材料であり、私たちのふるさとともいえます。光を出さない暗黒の雲を調べる手段が、電波天文学です。国立天文台野辺山宇宙電波観測所やアルマ望遠鏡など様々な電波望遠鏡によって、星や惑星の誕生のようすやその材料組成、ブラックホールや生まれたての銀河の様子が明らかになってきました。今回は見えない宇宙を探る電波天文学について、基礎から最新の成果までわかりやすくご紹介します。(講師：記)

日時：令和8年2月8日（日） 午後2時～3時30分

会場：武蔵野プレイス4階フォーラム


講師：平松 正顕（国立天文台 講師 / 天文情報センター 副センター長）

対象：中学生以上（小学生以下で参加希望の方は、武蔵野プレイス生涯学習支援係までお問合せください）


定員：60名（超えた場合は、市内在住・在学・在勤の方を優先のうえ抽選）

参加料：500円

※要事前申込み。詳しくは裏面をご覧ください。

主催：  公益財団法人 楽しむ、出会う、わちあう 武蔵野文化生涯学習事業団

お問合せ：武蔵野プレイス生涯学習支援係（☎0422-30-1901）

 ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス



講師 平松 正顕 (ひらまつ まさあき)

1980 年、岡山県生まれ。博士（理学）。自然科学研究機構国立天文台 天文情報センター 副センター長/講師/周波数資源保護室長/産業連携室長。総合研究大学院大学先端学術院講師を併任。専門は電波天文学、科学コミュニケーション。

東京大学大学院理学系研究科天文学専攻博士課程を修了後、台湾中央研究院天文及天文物理研究所 博士研究員/ALMA 地域センターアストロノマーを経て 2011 年 3 月より国立天文台に勤務し、東アジア・アルマ教育広報主任として、南米チリで運用中の国際天文台計画「アルマ望遠鏡」の広報活動を担う。2021 年 6 月から国立天文台天文情報センター周波数資源保護室に異動し、可視光から電波の幅広い波長域にわたって良好な天文学観測環境を守るための業務を行っている。近著に『宇宙はどのような姿をしているのか』（ベレ出版）、『ウソみたいな宇宙の話を大学の先生に解説してもらいました。』（秀和システム）

応募方法

窓口、またはインターネットからお申込みください。

① 窓口（12/29～1/4 休館）

武蔵野プレイス 3 階 生涯学習窓口にお越しください。窓口で申込用紙にお書きいただきます。

② インターネット

「武蔵野市文化・スポーツ・生涯学習ネット」（武蔵野プレイス HP 内にリンクあり）から、お申込みいただけます。



※武蔵野市に在勤・在学の方は「備考欄」に「勤務先・学校名」を入力してください。

申込締切と結果のお知らせについて

- ・窓口、インターネットともに、**締切日（1 月 15 日（木））**までにお申込みください。
- ・**抽選結果は、1 月 23 日（金）**からご確認いただけます。
- ・**当選された方には、郵送で受講のご案内をお送りいたします。**
- ・インターネットでお申込みの場合、**落選通知はお送りしません。**抽選結果は各自でご確認ください。

お申込み時にいただいた個人情報は「武蔵野市文化・スポーツ・生涯学習ネット」を運営する武蔵野文化生涯学習事業団が管理運営する施設の予約及び教室の実施・運営に必要な範囲内で使用いたします。それ以外の目的で使用することはありません。